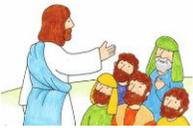


しゅいの 主の祈り

てん 天にまします われらのちち 父よ、
 ねがわくは み名を あがめさせたまえ。
 くに き みを 来たらせたまえ。
 み心の 天になるごとく
 地にも なさせたまえ。
 われらの 日用の糧を、
 今日も あたえたまえ。
 われらに 罪をおかすものを
 われらが 赦すごとく、
 われらの 罪をも 赦したまえ。
 われらを 試みにあわせず、
 悪より 救い出したまえ。
 国と ちからと 栄えとは
 かぎりなく 汝のものなればなり。
 アーメン

イエスさまが「こう祈りなさい」と教えてくださ
 たお祈りを、わたしたちも大切に
 して、いっしょに祈りましょう。



*** **

ようこそ、関東学院教会 教会学校へ!

教会学校は、こどももおとなもみんなで神さまを「礼拝」します。その
 あと「分級」でまじわりをする、9時～10時の一時間のプログラムで
 す。前半は礼拝です。さんびやお祈りに、あなたも声を出していっしょ
 に参加してください。礼拝はインターネットでライブ配信もしています。
 後半は幼小科、ティーンズ(中高)科、成人科にわかれて聖書の学び
 やまじわりをしています。ぜひ参加してください。



かんとうがくいんきょうかい きょうかいがっこう しゅうほう 関東学院教会 教会学校 週報



2025年度 教会学校主題 「神さまの愛を分かち合おう」 申命記10章17-19節

「あなたがたの神、主は神の中の神、主の中の主、偉大で勇ましい畏るべき神、偏り見ることも、賄賂を取ることもなく、孤児と寡婦の権利を守り、寄留者を愛してパンと衣服を与えられる方である。だから寄留者を愛しなさい。あなたがたもエジプトの地で寄留者だったからである。」

6/29~7/5 あんしょうせいく フィリピの信徒への手紙4章13節

わたしを●●めてくださる●●の●●●●で、
 わたしには●●●●が●●●●です。



きょうの 聖書のこぼし フィリピの信徒への手紙4章2-20節

2わたしはエボディアに勤め、またシンティケに勤めます。主において同じ思いを抱きなさい。3なお、真実の協力者よ、あなたにもお願いします。この二人の婦人を支えてあげてください。二人は、命の書に名を記されているクレメンスや他の協力者たちと力を合わせて、福音のためにわたしと共に戦ってくれたのです。4主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。5あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになりなさい。主はすぐ近くにおられます。6どんなことでも、思いついたことを神に打ち明けなさい。7そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。8終わりに、兄弟たち、すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて名誉なことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。9わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神はあなたがたと共にいられます。10さて、あなたがたがわたしへの心遣いを、ついにまた表してくれたことを、わたしは主において非常に喜びました。今までは思いはあっても、それを表す機会がなかったのです。

11物欲しさにこう言っているのではありません。わたしは、自分の置かれた境遇に満足することを習い覚えたのです。12貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹していても、空腹であっても、物が有り余っていても不足していても、いついかなる場合にも対処する秘訣を授かっています。13わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。14それにしても、あなたがたは、よくわたしと苦しみを共にしてくれました。15フィリピの人たち、あなたがたも知っているとおり、わたしが福音の宣教の初めにマケドニア州を出たとき、もののやり取りでわたしの働きに参加した教会はあなたがたのほかにも一つもありませんでした。16また、テサロニケにいたときにも、あなたがたはわたしの窮乏を救おうとして、何度も物を送ってくれました。17贈り物を当てにして言うわけではありません。むしろ、あなたがたの益となる豊かな実を望んでいるのです。18わたしはあらゆるものを受けており、豊かになっています。そちらからの贈り物をエパフロディトから受け取って満ち足りています。それは香ばしい香りであり、神が喜んで受けてくださるいけにえです。19わたしの神は、御自分の栄光の富に応じて、キリスト・イエスによって、あなたがたに必要なものをすべて満たしてください。20わたしたちの父である神に、栄光が世々限りなくありますように、アーメン。

にほん どうめい かんとう がくいん きょうかい 日本バプテスト同盟 関東学院教会

ぼくし たかはし あきら きょうかいがっこうこうちゅう つかだこうしろう
 牧師 高橋 彰 教会学校校長 塚田好四郎

★教会事務所・追浜チャペル 横須賀市追浜本町 1-12-1 Tel & Fax 046-884-9781

★大学チャペル(日曜日午前中) 横浜市金沢区六浦東 1-50-1



メールアドレス kgc@kanto-gakuin-church.com ホームページ <https://kanto-gakuin-church.com> (QRコード) ➡

献金振込用 ゆうちょ 口座 10290-24933301 宗教法人日本バプテスト同盟関東学院教会

☞ 教会公式 LINE アカウント (LINE アプリで友だち登録をお願いします。教会の礼拝や、特別なお知らせも随時お送りします。



きょうかいがっこう ファミリーれいはい

こぜん じ れいはい
午前9時~10時 (礼拝)

がつ にち れいはい
6月29日 礼拝プログラム

かみ まね 神さまの招き

ぜんそう

*さんび 「ぼくたちのうた」 → (となり)

*しゅのいのり

さんびたいむ

かみ 神さまのこたば

せいしょ フィリピの信徒への手紙4章2-20節
(新約365ページ 週報表面)

あんしょうせいく

おはなし 「苦しみを共にできる喜び」

おいのり

かんしゃ 感謝

*さんび 131「かなしいことがあっても」(176ページ)

けんきん

*さんび 24-2「まごころこめ」(46ページ)

*おいのり

*ほうこく

かみ はけん 神さまの派遣

*さんび 34「キリストのへいわ」(56ページ)

*しゅくとう

*こうそう

おはなし: 増淵美紀さん 司会: 高橋彰牧師

そうがく: 古川由起子さん
奏楽: 古川由起子さん

ぼくたちのうた

G CmG CmG CmG
1.そ ら を と ぶ と り - を -
2.か ぜ を と な あ が れ て - を -
3.な み だ が れ て - を -

G DmF Em Em
み る が ぐ い - と いた う - ぼく の
あ お け ぶ す こ み え が ず る - ぼく の
それ

Cm Dm Bm
こ こ ろ に は は は ね が な
か な あ た - は おい もき がい だ
かも

E Cm Am
- い - つ - め た い か ぜ の
- す - な き - つ か う し い せ の
- く - - - ぼ う を せ ー ん

F D7 G
- お と - - 1,2.う た え ぼ
- こ じ て - 3.う た え ぼ

GmF G GorF
く た ち の た ま し い よ -
む た ち の た ま し い よ - Bm7

G C Bm
と き の な が れ こ え た -
と と

Em G Am
- き ず つ さ い た た み - わ
- せ り す さ の な み - う け

D7 G
れ そ き だ つ まい え に - い つ の ち を -
そ だ つ まい え に - い つ の ち を -

G
み つ け た だ せ - -
は ば た だ せ - -

けんきんほうこく 献金報告

れいはいけんきん えん かんしゃ
・6/22 礼拝献金: 4,410円 感謝します。

らいしゅう 7/6 9:00~10:00 だいがく 来週 大学チャペル

・おはなし「荒れ野にて」瀬沼敦子さん

・聖書: 民数記9章15-23節

・司会: 大石菜々子さん 奏楽: 古川由起子さん

・受付: 田中智子さん

いの お祈りしよう

・バプテスマをうける古木クリスティーナさくらさん、

もちづきゆい 望月結衣さんのために。

・ミャンマーのこどもたちが神さまに守られて学べますように。

おしらせ

・7/26(土) 10:00~15:00

教会学校2025夏のデイキャンプを行います。

テーマ: 「神さまの愛を分かち合おう」

対象3歳~12歳(小学校入学前の人は保護者が一緒に)

詳しくはチラシをみてくださいね😊

・8/12~15夏の「猪名川ユースキャンプ」が行われます。

テーマ「神さまはこんなところに」(創世記28:16)。

講師は川江亜希子牧師(日本基督教団浪花教会)。



関西の猪名川研修センターで若者
たちが集まって、聖書の学びや交わ
り、自然の中で過ごすプログラムで
す。中1~大学生の方がた、ぜひ
参加しましょう!詳しくはチラシを
ごらんください。

★*しるしのところは立っておこないましょう。困難なことは座ったままでご参加ください。

★礼拝の中で、自由献金の時があります。わたしたちをきょうも愛して恵みをくださる神さまに、

感謝のしるしとしておあげしましょう。献金は神さまの愛を伝える働きのために用いられます。